

大日小の教育理念 「地域に学び、地域とともに」

→大日小の教育の根底に流れる大河



大日小の学校教育目標

「自ら学び 心豊かで たくましい児童の育成（開拓者魂）」

〔1〕自ら学ぶ・・・自ら学ぼうとする態度を育てる・・・基礎的・基本的な知識及び技能

知識や技能を活用して課題解決するための
思考力・判断力・表現力
主体的に学習に取り組む態度

〔2〕心豊か・・・寛容な心をもっていじめをなくすとともに、・・・明るく、元気で礼儀正しい態度
真実を見つめる清んだ眼をもつ。

正義を重んじ、尊ぶ心
道端の花を美しいと感じる素直な心
生き物の命を感じる思いやりの心
友とともにあり、力を合わせ、高め合おうとする心
学ぶことの楽しさ、喜びを感じる心

〔3〕たくましさ・・・健康で強い意志をもち、・・・心身の健康を求める姿勢
力強く活力に満ちた生活を送る。

挨拶・返事・協力・協働・勤労等を重んじる姿勢
目標に向かって粘り強く、一生懸命に取り組む姿勢

※「開拓者魂」とは何か

地域に受け継がれる開拓者としての精神

→現状に満足せず、困難にあえて立ち向かい、不可能を可能にしようとするたくましい心
と行動力、団結力

=いつかその手に掴むことができると信じ実現するための信念

めざす児童像 →義務教育9年間（15歳の姿）を見通した児童像

◎だれもが元気大日っ子（体）・・・心身の健康・基本的な生活習慣

→15歳 明るくたくましい身体と強い精神力を備えた15歳

◎いつもチャレンジ大日っ子（徳）・・・自主・自律・勤労

→15歳 粘り強く、一生懸命に活動する15歳

目標を掲げ、達成に向けて前向きに努力する15歳

◎にこにこなかよし大日っ子（徳）・・・明朗・協力・協調・思いやり

→15歳 明るく礼儀正しい15歳

正義を尊び、思いやりのある心豊かな15歳

◎ち性豊かな大日っ子（知）・・・基礎学力・探究・創意工夫

→15歳 よく考え、判断し、主体的に学ぶ15歳

15歳の姿へ

※小5・小6・中1
13歳の姿も視点に

大日小の教育（手立て）

「子どもたちと職員のウェルビーイング（協調的幸福感）のためになるか否か」を判断基準とする。

令和6年度の柱として

- ・学校創立50周年への取組
- ・各学年3学級になることを生かした取組（運動会、たてわり活動等）

1 主体的・対話的で深い学びの実現…「ち性豊かな大日っ子」

◎主体的・対話的で深い学びを通した、子どもたちに満足感を味わわせる学習指導

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成…新教科書への対応
- すべての学習の土台となる基礎・基本の徹底…「ドリルタイム」の時間での反復学習
※ちばっこチャレンジ100の活用
- 読書を通した知識の獲得や思考力等の育成…「朝読書」（10分間）による読書の習慣化
- 主体的・対話的で深い学びの実践…子どもたちの頭・体・心が動く授業の創造
研究主題 自分の考えや思いを適切に表現し、伝え合う児童の育成～全教科を通して～
～学び合いを生かし、思考を深める授業づくり～
※ホワイトボード、タブレットによる思考の可視化
授業の振り返りを文章で書く、文字数の指定
- 指導と評価の一体化…学習問題は青囲み、まとめは赤囲みにし、授業のねらいと評価の観点を意識
- 「自己有用感」を育む授業づくり…「達成できた」「認められた」「活躍できた」といった瞬間を
R5 学校評価（児童） Q「学校で勉強したことがわかるようになりましたか」9割が肯定的回答
- 学習意欲を高める環境整備…整理整頓され整然とした環境づくり
- 特別支援教育の充実…全校体制で特別支援教育をより充実させ、一人一人の力を伸ばす
- 教職員の授業力向上…校内相互授業参観と他校研究会への参加

2 健やかな心身の育成…「たくましさ」…「だれもが元気大日っ子」

「心豊か」……………「いつもチャレンジ大日っ子」

「心豊か」……………「にこにこなかよし大日っ子」

◎「心身の健康」を、生徒指導を中心とした全教育活動で育成する。

- 「大日っ子の一日（学校のきまり）」の遵守… 大日小ガイドの活用
- 「校内いじめ防止基本方針」に基づくいじめの根絶…全職員でアンテナを高く、情報共有
- 考え、議論する道徳教育の実践…年間時数の確実な実施（道徳的実践力の育成）
- あらゆる機会を捉えた人権教育の充実…日常こそ人権教育の宝庫、人権週間の活用等
- 多様性への理解促進…特別支援教育の充実、外国にルーツを持つ児童への支援の充実、国際理解教育の充実、LGBTQの理解促進 等
- 健康・安全教育の充実
- SDGsにおける学校での取り組み
- キャリア教育の推進
- 合唱による児童同士（全校・学年・学級）の一体感の醸成（全校集会、音楽集会、学校行事 等）
- たてわり活動による思いやり・助け合いの心の育成（全校縦割り活動・運動会等）

3 安全安心な学校づくり

- 危機管理…あらゆるリスクを想定した実働的な危機管理体制の構築（災害・事故・事件等）
 - ① 不断の見直しを辞さない「危機管理マニュアル」の作製と運用
 - ② 迅速に対応できる連絡体制の確立（緊急連絡体制の再構築 電話・マチコミメール）
 - ③ 無理のない参集計画
 - ④ 真に必要な業務に焦点化した業務継続計画（継続が必要な業務の洗い出し）
 - ⑤ 役割分担を明確にしたチーム対応（役割分担の再確認）

- ⑥次に生かす情報の蓄積（対応時、対応後の記録の蓄積と整理）
- 不祥事根絶…すべての信頼、すべての幸せを破壊する不祥事の絶対根絶
 - ①事例に学ぶ現状の認識（不祥事根絶リーフレット等の活用）
 - ②危機意識の維持継続（教育長緊急メッセージ、県教委からのメッセージ等の活用）
 - ③モラルアップ委員会を活用したチーム意識と根絶意識の向上
 - ④研修を通じた再確認・再認識（自分事意識向上・意図的不祥事と不注意的不祥事の認識）
- いじめ防止…いじめの絶対根絶
 - ①校内いじめ防止基本方針に基づく、実働的ないじめ防止対策推進委員会の実施
 - ②子どもたちへの継続的な啓発活動（道徳・人権集会・いじめ根絶キャンペーン・命の教育）
 - ③子どもたちの発するサインをチームで見逃さない体制（常に情報連携・情報共有）
 - ④いじめと認識される事態が発生した時のチームでの対応
- 健康・安全教育…「命の教育」（健康・安全）を通じた幸せの土台づくり
 - ①自ら進んで運動に親しむ態度の育成（外遊びや運動の啓発）
 - ②保健指導・給食指導等をとおして、自らの健康・体の状態に興味関心を持たせる。
グループによる給食場面を
 - ③安全に対する意識の向上…特に交通安全。実際の事故発生現場の情報共有
 - ④避難訓練の充実…想定する状況、めあてを明確に。実際に想定して。
- 開かれた学校運営…「地域に学び、地域とともに」ある学校づくり
 - ①学校の取り組みの情報発信（HP、学校だより、学年だより、保健だより、学級通信…）
 - ②地域との連携（地域の人やモノを活用した授業、校外学習の実施、等）
地域の開拓の歴史を知る機会を（研修予定）
- 小中・小小連携の推進…四街道西中との小中連携、四街道小との小小連携
 - ①教育課程の編制時点からの協同作業
 - ②小中コーディネーター会議（中学校区）
 - ③学習に関する共通行動（授業規律・話し合い教え合い・家庭学習）
 - ④生活等全般に関する共通行動（挨拶返事・思いやり・清掃（黙働）・自学・健康・安全）
 - ⑤キャリア教育の推進…夢や目標を意識して取り組ませる機会（児童生徒相互の学校訪問）
- 業務改善の推進…働き方への意識改革と業務のスリム化・効率化
 - ①パソコンソフトによる出退勤時刻の把握と意識化
 - ②ノー残業デーの実施（毎週木曜日）
 - ③校務支援システムの活用促進
 - ④会議資料のペーパーレス化促進（職員会議・企画会議・各種委員会等）
 - ⑤業務のスリム化・効率化（提出物の内容・方法・回数等、行事や学習活動の見直し 他）

大日小学校創立50周年について

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 計画組織 | 校内50周年行事担当
PTA50周年実行委員会 |
| 2 | 目的 | ・創立50周年を迎える大日小学校や地区の歴史を知ること、先人の願いに触るとともに、より良い大日小学校を築いていこうとする心情を育てる。
・地域の方々に創立50周年であることを伝え、学校としての感謝の想いを届ける。 |
| 3 | 内容 | (1) 記念イベント 空撮、バルーンリリース
(2) 記念誌
(3) 記念式典（11月）
(4) 記念品購入 校旗 |
| 4 | その他 | 学習活動の中で50周年に関する内容を学年に応じて取り入れる。 |